

教育委員会の所管事務に係る  
自己点検・評価報告書  
(平成 25 年度事業分)

平成 26 年 9 月

西海市教育委員会

## 目次

○教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1
○学識経験者における所見	2～8
○自己点検・評価一覧表	
1 教育委員会の活動状況について	9～12
2 教育委員会が管理・執行する事務について	13～20
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1. 生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1) 能力や個性をのびす教育の推進	22～25
(2) 豊かな心と規範意識の育成	25～27
(3) 健康で安全な学校生活の実現	27～28
(4) 教職員の資質の向上	28
(5) 幼児期の教育の振興	29
2. いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1) 学習環境の充実	30～31
(2) 公民館活動の活性化	31～32
(3) 人権・同和教育の推進	32
3. 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1) 家庭の教育力の向上	33
(2) 学校・家庭・地域の協働	33
(3) 青少年の健全育成	34
4. 安全・安心を確保する教育環境の構築	
(1) 安全・安心を確保する教育環境の実現	35
(2) 学校施設の質的改善	36～37
5. 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1) 文化・芸術活動の推進	38
(2) 文化財の保存・活用	39
(3) 活力あるスポーツの振興	39～41
(4) スポーツ環境の充実	42～43

## 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになっていきます。

そこで、本市教育委員会においては、昨年度（平成 25 年度）における所管事務について、平成 23 年度に社会情勢の変化、計画の進捗状況などを的確に反映した施策の実施を目的に見直しを行った「西海市教育振興基本計画」の施策体系に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成いたしました。

また、点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用については、今回、元活水女子大学文学部教授の橋川文次先生、元西海中学校校長の妻鹿 実先生のお二人にそれぞれ所見をいただいております。

自己点検・評価にあたっては、客観的な視点に立ち実施しましたが、特筆すべき点として、全ての項目にわたって 3 段階とした自己点検評価基準について、昨年の議論を踏まえ見直し、検討し、今回は、①出来ている、②概ね出来ている、③もう少しの判断基準の中で、その判断を行った根拠を可能な限り、数値目標を踏まえながら「内容等」の欄に詳しく記載することとしました。

次に、教育委員の活動に関しては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、教育委員会ホームページに会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

また、市長との連携につきまして、25 年度は公式な意見交換会の開催は行っていないので、26 年度においては、意見交換会を開催して、密接な連携が出来るよう努めています。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに答えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えております。

最後に、西海市教育振興基本計画にも掲げている PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルの実践は堅持しながら、今回の点検・評価の実施に伴い明確になった課題については、学識経験者の意見を真摯に受け止め、改善すべき点は見直しを行い、本市教育行政の一層の充実を図って参ります。

平成 26 年 9 月

西海市教育委員会

## ○学識経験者における所見

西海市教育委員会が平成 25 年度の所管事務について行った自己点検・評価に対する私なりの所見を述べさせていただきます。

まず総評として。

西海市教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書の作成に参画させていただき、年数を重ねるごとに、本事業のもつ本来のねらいに向けて鋭意努力されている関係の皆様の方に深く感動いたしております。

自己点検・評価の項目は、西海市教育振興基本計画に則して設定され、主要施策と成果指標ごとに内容を明確にして点検・評価がなされています。

この取組に関しては、これまでも私なりの所見を述べさせていただきましたが、物事を評価（見極める）する場合、その目標を明確に設定することの重要性を強調してまいりました。ここで、本市の自己点検・評価を例にとりますと、ある事業（施策）を策定し実行するに当たっては、この事業を実行（実践）した結果において、市民の皆様のような姿を期待するのか。どのように変化して欲しいのか。また、ある状況がどのように変容（改善）することを目指すのか。このことを明確に浮彫りにすることの大切さを述べていただきました。例年の予定に従って、ある事業（施策）を例年通り実践すれば、今年度の予定が進んでいく。という考え方はなく、今年の予定事業（施策）が完了すれば、その結果を考察して、成果とは何か。課題は何か。なぜそうなのか。今後どうなればいいのか。などなど吟味してやる必要があります。そうして、「どうなればいいのか」…これが次年度に評価（見極める）することの目標です。一般に、物事は実践（実行）と評価のくり返しますが、私なりの考えでは、評価（見極め）があつて初めて課題が発見され、その課題解決のために次の、新しい実践が生まれてくる。と言えるのではないかと思います。

さて、今述べた観点から、西海市教育委員会の自己点検・評価の取組を拝見しますと、ここ数年の点検・評価の在り方からより望ましい方向へと着実に前進されたのではないかと考えます。ここで、具体的な事例に基づいて述べてみたいところですが、それは、この後に述べる中項目、小項目、成果指標ごとの内容の中で触れさせていただきたいと思えます。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べてみたいと思います。

## 2. 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

### （1）生きる力を育む学校教育の実現

#### ①能力や個性をのばす教育の推進

○児童生徒の学力向上と教員の資質向上を目指して、教科研究と共に他領域へと研究の幅を広げ、さらに、実践校数を増大させようとする努力が見られる。今後とも、授業を中心においた研究の推進を期待する。

○特別支援教育の充実のために、専門性の高い学校や関係機関との連携を密にすることを期待してきたが、そのことが大きく実を結んでいる。特に、個別の教育支援の作成とその実践は、まさに、特別支援教育の目標として高く掲げることだと思われる。

○特別支援教育補助員の配置は、当該生徒の実態に即した教育方法の確保と基本的生活習慣の定着や望ましい学校・学級集団づくりの観点から有益適切な方策である。本市においては、補助員の配置が着実に児童生徒の望ましい成長を支えているようである。

○本市においては、特別支援学校が、自校のもつ高い専門性と優れた実践の積み上げを広く地域の教育現場等に提供しようとする地域支援事業の特性を大変効果的に取り入れている。直接、児童生徒の発音・発達や保護者を支えると共に、教職員の識見と教育指導力の向上に今後とも有益適切に活用されることを期待する。

○就学指導委員会を中心とする目標は、児童生徒の適正就学の実現である。この意味において、本市の取組が望ましい方向を示しており、今後一層の充実を期待する。

○特色のある教育推進においては、地域の特色（特性）、学校の特色（特性）をふまえた教育の推進に向けて、教育委員会として、どのような創意工夫や重点化を学校に啓発し、支援しようと考えているのかを設定する必要があると感じる。

○小・中連携、中・高一貫教育の推進に当たっては、財政面の措置と共に、教育内容・方法等に関する指導・援助が望まれる。

#### ②豊かな心と規範意識の育成

○西海市小・中学校において、道徳教育の充実を図り、その状況を把握し、必要に応じて教育委員会の指導・援助、啓発を考えるための成果目標として他に必要と考えられることはないのか。学校教育の目標の実現を目指す中で、道徳教育の推進と、その充実に寄せる期待の大きさから考えると、教育活動全体を通して行う道徳教育という観点から創意工夫が望まれる。

○図書標準冊数達成に関しては、蔵書率の数的面の充実と共に、古い図書の廃棄等による質的面の充実に着目されており、望ましい方向性と考える。

○学校における読書活動推進のためには、図書館司書の配置は大きな施策である。本市の取組は大変望ましい方向である。今後一層の充実が期待される。

○不登校児童生徒の指導に当たって、適応指導教室の機能が効果的に発揮されている。今後の拡充が期待される。

#### ③健康で安全な学校生活の実現

○栄養教諭や学校栄養職員と連携した食に関する教育の推進に取組み、特に、各教科等を横断的にとらえた授業の工夫が有効適切である。

#### ④教職員の資質の向上

○教職員研修においては、西海市のもつ教育資源を教育活動の中に取組むための研修と、教員としての基礎的・基本的資質の修得を目指す研修とが調和を保ってなされている。

#### ⑤幼児期の教育の振興

○幼・保・小の接続教育のための研修の実施は時宜を得たものとして高く評価される。相互の情報交換を通して共有化した教育課題をテーマに掲げた研修会の実施が強く望まれる。

○幼児教育の場の確保及び指導体制の充実を図ろうとする姿勢を高く評価したい。今後の創意工夫と拡充が期待される。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

①学習環境の充実

○図書館クロスネットを活用することによって、市民が必要とする図書を広範囲に求めることを可能にしている。本市の図書館活動にとって大きな展望と考えられる。

○子どもの読書活動の充実のための、読書推進の風土づくりという発想が先進的である。年次的に作成された計画に則した着実な活動計画の実施が高く評価される。

③人権・同和教育の推進

○学校における人権・同和教育及び平和教育の推進の中でのいじめ発覚発生確認件数について、確認件数の増加をどう捉えるか。確認に当たった教職員等のいじめに関する認識の変化も含め、増加の要因となるものの把握が必要であると考ええる。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育の向上

①家庭の教育力の向上

○保護者への子育て支援における講座の開設で、親にとって学びの場の拡充が求められると思うが、実施回数減少の背景を考察する必要がある。

○PTA等保護者の側が主体的に設定する学びの場として、家庭教育学級の開設は有意義である。一層の広がりが期待される。

(5) 地域を支える文化・芸術・スポーツの振興

①文化・芸術活動の推進

○文化芸術に関する機会の数としては減少しているが、広く市民に優れた文化・芸術と触れ合う場を設定しようとする熱意が感じられる。今後一層の拡充が期待される。

○広く市民を文化協会に加入させようと努力されている。文化活動の活性化を図るためには、人的資源の確保と共に、活動そのものも質的なよさを感じさせる創意工夫も求められる。本市の目指す方向性は適切で、一層の発展が期待される。

②文化財の保存・活用

○文化財の分布図をまとめた冊子の発行と教育機関等への配付。その活用現場として歴史講座の開催、さらに、文化財説明版の設置等、一連の行政施策の策定と実施に、計画性と実効性が強く感じられる。

③活力あるスポーツの振興

○生涯スポーツの推進を目指し、市民の軽スポーツの普及を中心とする多彩な創意工夫が感じら

れる。生涯スポーツの普及とその基礎づくりの効果が期待される。

○スポーツリーダーバンク制度の確立に向けて、具体的な方策が定まりつつあり、今後が期待される。

○新しい地域でのスポーツ実技講習会の開催など、生涯スポーツの活性化への意欲が感じられる。

○市民のスポーツにおける競技力の向上を図るため、未加盟団体の加盟促進への努力や軽スポーツ単体の協会加入など、多彩な創意工夫が検討されている。前向きな姿勢が感じられる。

#### ④スポーツ環境の充実

○スポーツ環境の充実という観点からスポーツに関する各種情報の提供は、市民のスポーツに取り組む内発的な動機づけとして効果的である。

平成26年9月24日

橋川文次

西海市教育委員会が平成 25 年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、述べていただきたいと思えます。

西海市教育委員会は、平成 21 年度から「西海市教育振興基本計画」に沿い、「生きがいと未来を創造する教育の里づくり」を目指し、「協働の精神」を基盤として明確な教育方針を設定し、学校教育、生涯学習、青少年の健全育成、安心・安全の教育環境、文化・スポーツ活動の五つの中項目、更に 17 の小項目を設け、更に 144 項目の 3 段階での成果目標を設定し、自己点検・評価がなされ、85 項目 (59%) が「出来ている」45 項目 (32%) が「概ね出来ている」という達成状況も具体的に把握されている成果から、設定分野で各課がその実現に向け真摯な職務遂行が推進されていることに素晴らしさを感じます。

「西海市教育振興基本計画」の中で西海市の教育を取り巻く現状と課題や今後 8 年間に目指す重点政策も的確に把握された中で、平成 25 年度の成果や継続実施中の進捗状況を把握し、今後の教育行政に生かそうと考えられていると思えます。学校教育課・社会教育課・スポーツ振興課の協力・連携が一番重要なことだと思います。市教委内の各課の協力・連携を図り、西海市教育委員会の考えとして一貫した適切な指導・助言を徹底させ職務遂行していくことが、長崎県及び西海市の教育方針や各学校教育目標の実現の大きな力となると確信しています。今後さらに教育委員会の仕事だけではなく、教育委員会が中心となり、地域及び各種団体との意見交換の場を充実させること、市制十周年経過を機に今までに増して市内 5 町の枠を超え、地域間の交流などの対策も積極的に提案・実践し地域・市民の力を結集した教育行政の推進を実現させることで西海市の発展とともに併せて西海市の児童・生徒の今以上の成長が期待できると思えます。

平成 25 年度の西海市教育委員会の自己点検・評価を単なる実態把握に留めず、私の所見が今後の西海市教育活動推進に少しでも役立てば幸いです。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べてみたいと思えます。

#### 1. 教育委員会の活動状況について

- ・自己点検・評価の傾向から、「西海市教育振興基本計画」実現に向け、具体的に計画的な推進がなされ、各項目においての成果に繋がっていることが感じられます。
- ・公民館活動・地域連携・生涯学習推進などもう少し充実させること、文化・芸術振興やスポーツイベントなども市全体としての実施に一工夫した取り組みを考え、充実させてほしいと考えます。
- ・教育委員会各課同志の「報告・連絡・相談」の充実で協力・連携していくことが、今までに増した成果へと繋がっていくと思えます。

#### 2. 教育委員会が管理・執行する事務について

- ・教育委員会が計画・実践・指導・管理・執行する事項が多岐に渡っている中で、すべての項目で「①出来ている」の評価が自信もつてできる状況から、日常の職務に対する取組みに頑張りが見え、素晴らしさを感じられます。その中で、職員の処分についての検討件数が多くなっていることが気になります。

#### 3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

- (1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現  
①能力や個性を伸ばす教育の推進



・学力向上に向けての研究授業に関しては趣旨に基づき、全ての学校で児童・生徒や地域の実態を考慮した内容で実施され、特色ある学校づくりも併せ、充実されていると思います。「美しい日本語」教育の取り組みの成果も期待しています。

・学力検査と学習意欲調査での結果では、市教委の関与や現場教職員の頑張りでも向上しているように思いますが、現場との連携を十分取りながら多面的に対策を講じ、実践してほしいと思います。特に家庭学習の充実が大きな鍵を担っていると思います。小・中及び中・高連携教育では、学力向上に加え、生徒指導や部活動等の連携も大切です。時間設定も大変かと思いますが校区内の交流の機会を増やすことから充実させてみてはどうかと思います。

#### ②豊かな心と規範意識の育成

・道徳授業の実施状況や中学校生の職場体験、小学生の西海学の実施率は申し分ないと感じます。今以上に「豊かな心と規範意識」は全ての教科・領域での指導、毎日の学校生活の中で感謝、思いやりの人間尊重の指導を徹底させることです。教師と生徒の良好な人間関係の構築と家庭・地域との協力・連携の施策も考慮した内容での指導・実践を期待します。

・不登校の子どもへの支援では、3項目ともに「②概ね出来ている」と他項目と比べ評価が低いようなので、学校・家庭・関係団体との連絡を密にし、対策を講じてほしい、関わってほしいと考えます。

#### ③健康で安全な学校生活の実現

・部活動での外部指導者導入は、専門的指導の可能教職員不足の中で技術指導には必要だと考えます。学校の方針を十分理解してもらい、担当教員との連携の下に進めてほしいと思います。・学校給食の食材に地産地消使用を常に気を配っていること、学校栄養職員による給食指導の充実など、とても素晴らしいことだと思います。

#### ④教職員の資質の向上

・市教委主催の研修は内容に工夫され有意義に実施され、市教委委託研究や行内研修や教育研究会との連携による授業研究も活発で、指導主事の派遣でその充実さが伺われます。各学校の研究発表も活発ですが、時期が重なることがあり教職員の参加に苦慮した思いがあります。時期の設定や小規模の参加状況に配慮できればもっと充実したものになると思います。

#### ⑤幼児教育の振興

・幼児教育における保護者の負担軽減のための補助は良く成されていると感じます。少子化に伴い、施設・設備などの面で大変かとは思いますが、市教委の指導・支援と保護者や関係団体との協力・連携による指導体制で充実させてほしいです。

#### (2) いつでも学べる生涯学習の推進

・公民館活動の活性化の項目の中だけ「①出来ている」がありません。児童・生徒の健全育成には公民館活動の取組みによる地域力も大きく関わっています。地区公民館活動には地域性があり、地区ごとの差があります。市教委の関わり方も難しいかとは思いますが、何らかの手立てが必要かと感じます。

・学校における人権・平和教育は、教育課程に沿って実施され、その効果も見えていると思います。市教委指導主催で計画的に実施されている講演会・研修会を今以上に市民への浸透に力を入れ充実させてほしいと思います。

#### (3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

・家庭における教育力の低下が指摘され、保護者の価値観や多様化などを十分考慮し、保護者向けの研修会や講座を充実させ、青少年健全育成の立場から学校・家庭・地域が一体となることの大切さを認識させる。更にPTA研修等で携帯やパソコン等の情報メディアの適切な利用法

の指導を充実させる必要を感じます。

(4) 安全・安心を確保する教育環境の構築

・学校適正配置に伴い、通学範囲の広域化でスクールバス利用の児童・生徒が増え、通学時における事故発生防止に向け、通学路の整備と安全指導の徹底などが今後の大きな課題だと思います。また廃校後、現在利用されていない校舎跡の有効的活用も大きな課題として、早急に進める必要があります。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

・スポーツ教室や文化的イベントは計画的に実施されていますが、市全体としての取組みにやや不足を感じます。市教委と各種団体・関係者との意見・情報交換会を充実させ、文化に対する意識、生涯スポーツの充実や競技力向上に努めてほしいと期待しています。

・あと半月に迫った長崎国体、成功に向けての並々ならぬ苦勞を是非爽らせ、素晴らしい大会で終結されることを祈願しています。

平成26年9月24日

妻 麗 実

---

# 1 教育委員会の活動状況について

---

自己点検評価基準 ①出来ている ②概ね出来ている ③もう少し

中項目	小項目	25年度	24年度	内容等	点検評価
1 教育委員会の構成	①構成数	5人	5人	うち、小中学校の保護者・・・1名	—
	②平均年齢	60歳	61歳	54歳・1名、57歳・1名 61歳・1名、62歳・1名 65歳・1名 平均年齢 60歳 (平成26年3月31日現在)	—
	③性別	男性 2名 女性 3名	男性 3名 女性 2名		—
2 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議開催数	14回	13回	定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を2回開催した。 教育委員会会議の開催について、市広報誌、教育委員会ホームページ上に掲載するなど会議開催の周知を図った。(平成23年4月よりホームページ公開)	①・2・3
	② 会議傍聴者数	3人	0人		1・②・3
	③議事録の公表状況	12件	12件	教育委員会会議録をホームページで公開した。	①・2・3
3 市長との連携	①意見交換会の状況	0回	1回	25年度は該当なし。	1・2・③
4 教育機関等との連携	①学校への訪問	13回	12回	別紙のとおり、13回の学校訪問を行い、延べ数で52名の教育委員の出席があった。 (参加率：80.0%)	①・2・3
	②その他社会教育施設への訪問	0回	0回	25年度は該当なし。	1・2・③
	③長崎県教育委員会との意見交換	4回	3回	長崎県教育委員会キャラバン隊との意見交換会の他、別紙のとおり、県内で開催された3回の研修会に参加した。 (参加率：81.3%)	①・2・3
5 教育委員の自己研鑽	①研修会への参加状況	2回	2回	別紙のとおり、九州地区の研修会及び県主催の大会に参加した。	1・②・3

小中学校訪問状況

年 月 日	曜 日	学 校 名	参加委員数	備 考
平成 25 年 4 月 8 日	月	大瀬戸小学校	3名	開校式
平成 25 年 4 月 8 日	月	大崎中学校	3名	開校式
平成 25 年 4 月 9 日	火	市内小学校	5名	入学式
平成 25 年 4 月 9 日	火	市内中学校	5名	入学式
平成 25 年 9 月 19 日	木	大島西小学校	3名	
平成 25 年 9 月 26 日	木	大瀬戸小学校	5名	
平成 25 年 10 月 23 日	水	大串小学校	4名	
平成 25 年 10 月 30 日	水	大崎中学校	5名	
平成 25 年 10 月 31 日	木	西彼北小学校	4名	
平成 25 年 11 月 15 日	金	西海東小学校	4名	
平成 26 年 1 月 27 日	月	大瀬戸小学校	2名	ふれあい給食
平成 26 年 3 月 18 日	火	市内中学校	5名	卒業式
平成 26 年 3 月 19 日	水	市内小学校	4名	卒業式
計			52名	

長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜 日	施設名称	参加委員数	備 考
平成 25 年 9 月 4 日	金	県教委キャラバン隊との意見交換会	4名	
計			4名	

社会教育施設への訪問状況

年 月 日	曜 日	施設名称	参加委員数	備 考
計				

研修会への参加状況

年 月 日	曜 日	研修会名称	参加委員数	備 考
平成 25 年 5 月 23 日	木	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	3名	
平成 25 年 8 月 22 日～23 日	木・金	第 10 回九州地区教育委員研修大会	5名	
平成 25 年 11 月 7 日	木	長崎県市町村新任教育委員研修会	1名	
平成 25 年 11 月 8 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	5名	
計			14名	

その他の活動状況

年 月 日	曜 日	内 容	参加委員数	備 考
平成 25 年 4 月 19 日	金	長崎県市町村教育委員会連絡協議会合同 同理事会及び県・市町教育委員会合同 会議	2名	
平成 25 年 11 月 29 日	金	第 8 回長崎県中学校総合文化祭	1名	
平成 25 年 12 月 3 日	火	第 4 回西海市議会定例会	1名	
平成 25 年 12 月 19 日	木	社会教育委員との意見交換会	5名	
平成 26 年 1 月 20 日	月	大島幼稚園視察	5名	～
計			14名	

---

## 2 教育委員会が管理・執行する事務について

---

自己点検評価基準 (①出来ている ②概ね出来ている ③もう少し)

中項目	活動指標	25年度	24年度	内容等	点検評価
1 教育に関する事務の管理 及び執行の基本的な方針 に関する事	検討件数	4件	6件	西海市社会体育施設整備計画、西海市立保育所・幼稚園民営化等検討委員会答申に対する西海市教育委員会の意見等について審議した。	①・2・3
	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関する事	27件	28件	教育委員会規則9件、規程8件、告示9件、その他1件の制定改廃を行った。	
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関する事	0件	0件	平成25年度は該当なし。	
3 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事	検討件数	5件	1件	市内小中学校教職員の人事異動、職員の処分について検討した。	①・2・3
	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事	2件	3件	市立小中学校の耐震診断の修正及び公表、教育委員会の自己点検・評価について検討した。	
5 教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関する事	予算関係 検討件数	6件	7件	当初予算及び補正予算について検討した。	①・2・3
	条例関係 検討件数	7件	7件	西海市子ども夢基金条例の提案の他6本の条例の提案について検討した。	
	その他議案 検討件数	4件	6件	損害賠償の額を定め、和解することについて検討した。	
7 教育財産の取得及び処分 について市長に申出を行う事	申出件数	5件	12件	教育財産の取得1件、用途廃止3件、用途変更1件について検討した。	①・2・3
	教育長、教育次長、課長及びその他の教育機関の長の任免に関する事	1件	0件	教育長の選任について検討した。	
8	検討件数	1件	0件	教育長の選任について検討した。	①・2・3



9	1件1,000万円を超える事業計画に関すること	検討件数	2件	1件	小学校校舎等の改修工事、大島若人の森総合運動公園改修事業、大島地区内教育施設駐車場整備事業について検討した。	①・2・3
10	学校給食の企画及び指導方針を定めること	検討件数	0件	0件	平成25年度は従来の方針に変更なし。	—
11	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	0件	0件	平成25年度は該当なし。	—
12	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	0件	0件	平成25年度は該当なし。	—
13	学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更を決定すること	検討件数	0件	0件	平成25年度は該当なし。	—
14	教育委員会の所管に属する各種委員会の任命又は委嘱に関すること	検討件数	23件	22件	学校医、西海市文化財保護審議会委員等の各種委員会委員の委嘱について検討した。	①・2・3
15	その他	検討件数	6件	4件	教育文化スポーツ功勞表彰、西海市文化財への指定について検討した。	①・2・3
	計		92件	97件		

(参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件名	議決年月日	結果	中項目の区分
第4回定例会	議案	第28号	西海市立小・中学校省令主任の任命について	平成25年4月26日	原案可決	14
	議案	第29号	西海市障がい児就学指導委員会委員の委嘱について	平成25年4月26日	原案可決	14
	議案	第30号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	平成25年4月26日	原案可決	14
	議案	第31号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	平成25年4月26日	原案可決	14
	議案	第32号	西海市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成25年4月26日	原案可決	2
	議案	第33号	西海市スクールソーシャルワーカー設置規程の制定について	平成25年4月26日	原案可決	2
	報告	第5号	西海市歴史民俗資料館のあり方等検討委員会の答申について	平成25年4月26日	原案承認	15
	報告	第6号	西海市立学校施設の耐震化計画の修正及び公表について	平成25年4月26日	原案承認	5
第2回臨時会	議案	第34号	委員長の選挙について	平成25年5月17日	原案可決	15
	議案	第35号	教育長の選任について	平成25年5月17日	原案可決	8
	議案	第36号	委員長職務代理者の指定について	取り下げ		15
第5回定例会	議案	第37号	西海市立学校医の委嘱について	平成25年5月28日	原案可決	14
	議案	第38号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	平成25年5月28日	原案可決	14
	議案	第39号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	平成25年5月28日	原案可決	14
	議案	第40号	西海市教科等指導員の委嘱について	平成25年5月28日	原案可決	14
	議案	第41号	西海市社会教育委員の委嘱について	平成25年5月28日	原案可決	14
	議案	第42号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	平成25年5月28日	原案可決	14
	議案	第43号	西海市社会体育施設整備計画の策定について	平成25年5月28日	原案可決	1
	議案	第44号	西海市子ども夢基金条例の提案について	平成25年5月28日	原案可決	6
	議案	第45号	第51回長崎県スポーツ推進委員研究大会補助金交付要綱の制定について	平成25年5月28日	原案可決	2
	議案	第46号	西海市立図書館等図書廃棄規程の制定について	平成25年5月28日	原案可決	2

	議案	第47号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (教育費補正予算第1号)	平成25年5月28日	原案可決	6
	報告	第7号	平成25年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	平成25年5月28日	原案承認	9
	報告	第8号	平成24年度教育費補正予算第7号について	平成25年5月28日	原案承認	15
第6回定例会	議案	第48号	西海市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	平成25年6月26日	原案可決	14
	議案	第49号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	平成25年6月26日	原案可決	14
	議案	第50号	西海市学校教育問題対策協議会委員の委嘱について	平成25年6月26日	原案可決	14
	議案	第51号	西海市社会教育委員の委嘱について	平成25年6月26日	原案可決	14
	議案	第52号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	平成25年6月26日	原案可決	14
	議案	第53号	西海市立図書館協議会委員の委嘱について	平成25年6月26日	原案可決	14
	議案	第54号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	平成25年6月26日	原案可決	14
	議案	第55号	西海市立大島幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成25年6月26日	原案可決	2
	議案	第56号	西海市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	平成25年6月26日	原案可決	2
	議案	第57号	西海市離島高校生修学支援事業費補助金交付要綱の制定について	平成25年6月26日	原案可決	2
	報告	第9号	西海市第2次子ども読書活動推進計画の修正について	平成25年6月26日	原案承認	1
	報告	第10号	平成25年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	平成25年6月26日	原案承認	9
	報告	第11号	西海市子ども夢基金条例施行規則の制定について	平成25年6月26日	原案承認	2
第7回定例会	議案	第58号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	平成25年7月24日	原案可決	14
	議案	第59号	西海市高度へき地修学旅行費補助金交付要綱の制定について	平成25年7月24日	原案可決	2
第8回定例会	議案	第60号	教職員の処分について	平成25年8月30日	原案可決	4
	議案	第61号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (西海地区スクールバス交通事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて)	平成25年8月30日	原案可決	6
	議案	第62号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (西海市大瀬戸青少年研修所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について)	平成25年8月30日	原案可決	6

	議案	第 63 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (教育費補正予算第 2 号)	平成 25 年 8 月 30 日	原案可決	6
第 9 回定例会	議案	第 64 号	職員の処分について	平成 25 年 10 月 4 日	原案可決	4
	議案	第 65 号	教育財産の用途廃止について (西海市立崎戸学校給食共同調理場)	平成 25 年 10 月 4 日	原案可決	7
	議案	第 66 号	教育財産の用途廃止について (西海市大瀬戸青少年研修所)	平成 25 年 10 月 4 日	原案可決	7
	議案	第 67 号	西海市大瀬戸青少年研修所の設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則の制定について	平成 25 年 10 月 4 日	原案可決	2
	報告	第 12 号	教育財産の用途変更について (旧大島中学校体育館施設の用途変更)	平成 25 年 10 月 4 日	原案承認	7
	報告	第 13 号	平成 24 年度西海市一般会計 (教育費) 決算認定について	平成 25 年 10 月 4 日	原案承認	6
第 10 回定例会	議案	第 68 号	教職員の処分について	平成 25 年 11 月 1 日	原案承認	4
第 11 回定例会	議案	第 69 号	平成 24 年度西海市教育委員会自己点検・評価について		継続審議	5
	議案	第 70 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (西海市社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について)	平成 25 年 11 月 25 日	原案可決	6
	議案	第 71 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (教育費補正予算第 3 号)	平成 25 年 11 月 25 日	原案可決	6
	議案	第 72 号	西海市教育委員会教育長事務委任規則の全部を改正する規則の制定について	平成 25 年 11 月 25 日	原案可決	2
	議案	第 73 号	西海市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について	平成 25 年 11 月 25 日	原案可決	2
	議案	第 74 号	後援等名義使用承認規程の一部を改正する訓令の制定について	平成 25 年 11 月 25 日	原案可決	2
	協議	第 1 号	西海市立大島幼稚園の民営化に関する協議について		継続協議	
第 12 回定例会	議案	第 69 号	平成 24 年度西海市教育委員会自己点検・評価について	平成 25 年 12 月 19 日	原案可決	5
	議案	第 75 号	西海市公民館長の委嘱について	平成 25 年 12 月 19 日	原案可決	14
	議案	第 76 号	西海市文化財指定に関する西海市文化財保護審議会への諮問について	平成 25 年 12 月 19 日	原案可決	1
	議案	第 77 号	西海市子ども体験活動事業費補助金交付要綱の制定について	平成 25 年 12 月 19 日	原案可決	2
	議案	第 78 号	教育財産の用途廃止について (西海市大瀬戸青少年研修所)	平成 25 年 12 月 19 日	原案可決	7
	協議	第 1 号	西海市立大島幼稚園の民営化に関する協議について		継続協議	

第1回定例会	議案	第1号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について）	平成26年1月29日	原案可決	6
	議案	第2号	西海市教育委員会非常勤職員の任用に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	平成26年1月29日	原案可決	2
	議案	第3号	西海市立小中学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	平成26年1月29日	原案可決	2
	議案	第4号	平成25年度教育・文化・スポーツ功労被表彰者の決定について	平成26年1月29日	原案可決	15
第2回定例会	議案	第5号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市小中学校適正配置等審議会設置条例の制定について）	平成26年2月27日	原案可決	6
	議案	第6号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市教科書採択協議会設置条例の制定について）	平成26年2月27日	原案可決	6
	議案	第7号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市立大島幼稚園預かり保育条例の制定について）	平成26年2月27日	原案可決	6
	議案	第8号	教育財産の廃止及び取得について	平成26年2月27日	原案可決	7
	議案	第9号	西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成26年2月27日	原案可決	2
	議案	第10号	西海市立小学校及び中学校児童・生徒の通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	平成26年2月27日	原案可決	2
	議案	第11号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（平成26年度教育費予算）	平成26年2月27日	原案可決	6
	議案	第12号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （教育費補正予算第4号）	平成26年2月27日	原案可決	6
	議案	第13号	伝「深澤與五郎幸可」肖像画の西海市文化財への指定について	平成26年2月27日	原案可決	15
第1回臨時会	議案	第14号	平成26年度教職員人事異動について	平成26年3月3日	原案可決	4
	議案	第15号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （公務出張中の交通事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて）	平成26年3月3日	原案可決	6
第3回定例会	議案	第16号	西海市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	平成26年3月28日	原案可決	14

	議案	第 17 号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	14
	議案	第 18 号	西海市社会教育委員の委嘱について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	14
	議案	第 19 号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	14
	議案	第 20 号	西海市立大島幼稚園預かり保育条例施行規則の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 21 号	西海市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 22 号	西海市小中学校適正配置等審議会設置条例施行規則の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 23 号	西海市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 24 号	西海市幼稚園通園費補助金交付要綱の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 25 号	西海市教科書採択協議会設置要綱を廃止する告示の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 26 号	西海市小・中学校開校準備協議会設置要綱を廃止する告示の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 27 号	西海市結核対策委員会設置要綱の一部を改正する訓令の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 28 号	西海市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	2
	議案	第 29 号	西海市立保育所・幼稚園民営化等検討委員会答申に対する西海市教育委員会の意見について	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	1
	議案	第 30 号	職員の処分について 追加議案	平成 26 年 3 月 28 日	原案可決	4
	報告	第 1 号	西海市教科書採択協議会設置条例の修正について	平成 26 年 3 月 28 日	原案承認	6
	報告	第 2 号	西海市小中学校適正配置等審議会設置条例の修正について	平成 26 年 3 月 28 日	原案承認	6

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する

#### 事務について

中項目	1. 生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
	(1) 能力や個性をのばす教育の推進	
	(2) 豊かな心と規範意識の育成	
	(3) 健康で安全な学校生活の実現	
	(4) 教職員の資質の向上	
中項目	2. いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
	(1) 学習環境の充実	
	(2) 公民館活動の活性化	
	(3) 人権・同和教育の推進	
	3. 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
中項目	4. 安全・安心を確保する教育環境の構築	
	(1) 家庭の教育力の向上	
	(2) 学校・家庭・地域の協働	
	(3) 青少年の健全育成	
	5. 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
中項目	5. 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
	(1) 文化・芸術活動の推進	
	(2) 文化財の保存・活用	
	(3) 活力あるスポーツの振興	
	(4) スポーツ環境の充実	

自己点検評価基準 (①出来ている ②概ね出来ている ③もう少し)

中項目		1. 生きる力をはぐくむ学校教育の実現						
小項目	主要施策	成果指標	25年度	24年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 能力や個性を伸ばす教育の推進	学力の向上	研究授業の実施	実施校 100%	年度末アンケート未実施のため	—	授業構成能力を身につけ、個に応じた指導を柔軟かつ多様に取り入れながら、基本的な内容を身につける為各学校で校内研修を行った。また、教育委員会事務局としても、各学校の校内研修に出向き、指導助言を行うことで校内研修の充実を図った。	①・2・3	学校教育課
		「夢・あこがれ・志」モデルカリキュラムを参考にした授業の実施	中学校5校	中学校6校	—	将来の生き方を視野に、「夢、あこがれ、志」をもった子どもを育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリア教育の充実を図った。	①・2・3	学校教育課
		子ども未来創造事業	講演会参加者 414人 「美しい日本語」冊子印刷 3,500部	—	2,398	夢を実現させるための底力を育成するために、体験活動を開催し、学習や生活の基本となる言葉の力の育成を支援した。	①・2・3	学校教育課
		1日当たりの家庭学習時間	小学校低学年 53分 小学校高学年 77分 中学生 102分	小学校低学年 56分 小学校高学年 85分 中学生 106分	—	児童生徒の家庭学習時間の確保において、各学校とPTAが連携し、家庭学習の充実を図った。 今後もさらに家庭学習時間の確保を目指す。	①・2・3	学校教育課
		研究委託事業	委託校 6校	委託校 7校	750	算数科研究(小学校1校)、国語科研究(小学校1校)、ICT教育(小学校1校、中学校1校)、人権教育(中学校1校)、中高一貫教育(中学校1校)の6校に研究委託を行い、研究発表会や授業公開を通して、子どもの学力向上と教員の資質向上が図られた。	①・2・3	学校教育課



	小学校学力検査委託事業	対象児童数 439人	対象児童数 511人	299	西海市内の小学生（3年、4年）全員に対して、学力検査と学習意識調査を実施することで、学力の傾向や学習状況などの把握を図り、児童自身が自らの学力を知ることで、今後の学力向上に寄与した。	①・2・3	学校教育課
	中学校学力検査委託事業	対象生徒数 526人	対象生徒数 543人	263	西海市内の中学生（3年生を除く）全員に対して、学力検査と学習意識調査を実施することで、学力の傾向や学習状況などの把握を図り、生徒自身が自らの学力を知ることで、今後の学力向上に寄与した。	①・2・3	学校教育課
	要保護児童・生徒就学援助費	認定者数 小学生14名 中学生9名	認定者数 小学生14名 中学生15名	444	要保護家庭の修学旅行費及び医療費の補助を行うことで、児童・生徒の教育振興及び保護者の経済的負担の軽減を図った。	①・2・3	学校教育課
	準要保護児童・生徒就学援助費	認定者数 小学生139名 中学生89名	認定者数 小学生147名 中学生88名	21,917	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、必要な援助を行った。	①・2・3	学校教育課
特別支援教育の充実	特別支援教育研修会の受講者数	受講者数 73人 小学校46 中学校26 幼稚園1	受講者数 54人 小学校34 中学校19 幼稚園1	—	市内全小・中学校の特別支援教育コーディネーターを集め、研修を行った。川棚、桜ヶ丘特別支援学校より講師を招き、個別の教育支援計画の策定の仕方を中心とした講義を受け、実践へとつなげた。	①・2・3	学校教育課
	特別支援教育補助員の配置数	補助員 18人	補助員 16人	14,715	発達障害やそれに類する児童のいる学級では、学習が成立しなかったり、該当の子どもたちの学習の定着が図れなかったりしていた。本事業の補助員が入ることで、学習を成立させ安定した学校生活を送れるようになった。	①・2・3	学校教育課
	他市町の専門機関の活用回数	活用回数 10回	活用回数 12回	—	川棚、桜ヶ丘特別支援学校の地域支援事業を活用し、研修会の講師派遣、就学相談のアドバイスを依頼した。7回の研修会では延べ178名の教職員が参加し、その後の指導に生かされた。就学相談では、幼稚園・保育園、小・中学校での行動観察や発達検査を行ったうえで保護者と適切な相談を進めることができた。また、時津ひまわりの園と連絡会を3回もち、就学児の就学相談につなげた。	①・2・3	学校教育課

	就学指導委員会	実施回数 2回	実施回数 2回	63	障害があるなど、特別な支援を要する児童・生徒の就学判定を行うため、就学指導委員会を2回開催した。判定を受け、保護者と相談をすることにより、対象児童・生徒にとって適正な就学ができた。 平成25年度対象：就学児（園児）11名、児童数31名、生徒数5名	①・2・3	学校教育課
	小学校特別支援教育就学奨励費	認定者数 29名	認定者数 29名	708	特別支援学級児童の教育振興及び保護者の経済的負担の軽減を図った。	①・2・3	学校教育課
	中学校特別支援教育就学奨励費	認定者数 17名	認定者数 9名	986	特別支援学級生徒の教育振興及び保護者の経済的負担の軽減を図った。	①・2・3	学校教育課
	幼稚園特別支援教育補助事業	補助対象 幼稚園数 1園	補助対象 幼稚園数 1園	450	特別に支援が必要な幼児が在籍している市内私立幼稚園が特別支援教育補助員を雇用する場合、その人件費を対象として補助した。	①・2・3	学校教育課
特色ある学校 づくりの推進	地域産業を生かした体験学習の実施率	100%	100%	—	西海市の地域性を生かして、小学校の農業体験活動や水産体験活動を通じて、勤労・食育・協働・環境教育等の理解と実践ができるよう努めた。	①・2・3	学校教育課
	地区学校評価委員の学校訪問出席率	60.0%	60.0%	357	特色ある学校づくりのために、地域住民や保護者、教職員が学校の評価者となる「地区学校評価委員」の活動の活性化を図った。	1・②・3	学校教育課
	ALT等の配置	ALT配置数 4名	ALT配置数 5名	19,111	英語を母国語とする外国人4名の英語指導助手により、児童生徒に対し英語教諭とともに英語指導を行った。生きた英語に触れることで、語学力の向上と国際理解を深めることが出来た。	①・2・3	学校教育課

		特色ある教育推進事業	実施校数 19校	実施校数 24校	2,908	各小・中学校の教育方針に基づき、地域の実情に応じた特色ある教育推進事業を実施した。	①・2・3	学校教育課
	小・中連携、 中・高一貫教育 の推進	小・中連携教育導入地区数	導入地区数 5地区	導入地区数 5地区	450	幼・小・中・高の連携した教育を推進する中で、相互協力、相互交流するための事業経費に対して補助を行った。	1・②・3	学校教育課
		中・高一貫教育導入地区数	導入地区数 1地区	導入地区数 0地区	—	県教育委員会との連携のもと、大崎中学校と大崎高等学校との中・高一貫教育を平成25年度から導入した。	1・②・3	学校教育課
(2) 豊かな心 と規範意 識の育成	道徳教育の充 実	「道徳の時間」の研究授業を実施している学校の割合	100%	100%	—	市内全校において校内で授業研究を行った。	①・2・3	学校教育課
		職場体験推進事業	実施校数 5校 (江島は休校)	実施校数 6校	—	各中学校の教育方針に基づき、中学校において職場体験推進事業を実施し道徳的实践力を身に付けさせた。	1・②・3	学校教育課
	ふる里を学ぶ 教育の推進	地域を学ぶ副教材の作成	中学校副読本300部	中学校副読本300部 地区は平成24,25年度分を作成	210	市内中学1年生(249人)に配布し、平成25年度において授業で活用することで、郷土を誇り、愛する西海市の子どもの育成に努めた。(2ヵ年分を作成し配布を行う。)	①・2・3	学校教育課
		小学校6年生を対象にした「西海学」の実施率	実施率 100%	実施率 100%	135	小学校高学年において、「西海学」を全小学校で実施した。	①・2・3	学校教育課

		「西海学」教職員 研修会の実施	受講者数 50 名 小学校 39 名 中学校 11 名 幼稚園 0 名	受講者数 61 名 小学校 46 名 中学校 15 名 幼稚園 0 名	20	夏季教職員研修の一つとして一日実施した。西海町の史跡を中心に見学を行った。参加した教師は研修で学んだことを社会科や総合的な学習の指導につなげた。	①・2・3	学校教育課
読書活動の推進	小・中学校における1ヶ月の1人当たり図書貸出数	図書貸出数 小 6.8 冊 中 2.2 冊	図書貸出数 小 6.6 冊 中 2.1 冊	—	—	司書の配置により、小中学校への読書活動の推進、朝の読書活動の定着等により、貸出数は増加傾向を示した。	①・2・3	学校教育課
	「学校図書館標準」等による標準冊数達成学校の割合	標準冊数達成割合 小学校 108.1% 中学校 99.8%	標準冊数達成割合 小学校 106.9% 中学校 111.3%	16,139	—	光をそそぐ交付金基金事業による図書の購入及び中学校適正配置事業に伴い、蔵書率が小学校においては平均で 108.1%、中学校においては 99.8%となった。 今後は、蔵書率 100%を越えた学校から、古い図書の廃棄作業を進め児童に必要な図書の整備を図っていく。	①・2・3	学校教育課
	学校図書館司書の配置(小・中学校)	4校	5校 (うち2校兼務)	9,482	—	市内小・中学校の読書活動推進のため、中学校に図書司書を配置し、読書に関する指導や環境づくりを行うとともに、近隣小学校を巡回し中学校と同様の指導等を行った。	①・2・3	学校教育課
不登校の子どもなどへの支援	小・中学校における不登校児童・生徒数	小 2 名 中 14 名	小 2 名 中 8 名	—	—	各校及び市内の関係機関で連携し、不登校を減らすための取り組みが必要であり、個々の状況に応じ、継続的にかかわりを続けていく。	1・②・3	学校教育課
	心の教室相談事業	設置校 4校	設置校 5校	3,483	—	市内中学校に心の教室相談員を配置し、不登校傾向の生徒や保護者への支援、友人関係に悩む生徒の相談等を受け、助言を行った。どの生徒も気軽に訪れることができるというよさを生かしつつ、不登校に係る生徒への相談体制の充実に取り組んでいく。	1・②・3	学校教育課
	適応指導教室の設置	設置数 2箇所 通級者 延べ4名	設置数 2箇所	2,973	—	心理的要因等により学校生活に適應できない児童生徒に対し、適応指導教室を設置し、状況に応じた適切な相談、指導を行った。平成 25 年度では延べ 4 名の児童生徒が通級(訪問)し、指導を受けた。入級後	1・②・3	学校教育課

						の出席状況を改善し、学校への復帰につなげるため、家庭への支援と連携に特に配慮した関わりを続けている。		
(3) 健康で安全な学校生活の実現	健康・安全教育の推進	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合	小 89.38% 中 91.5%	—	—	今後さらに朝食を毎日食べて登校する児童・生徒を増やすために取り組む。	1・②・3	学校教育課
		う歯罹患者の割合	う歯罹患者割合 小 20.9% 中 44.1%	う歯罹患者割合 小 21.1% 中 47.2%	—	今後さらに罹患者を減らすための取組が必要である。	1・②・3	学校教育課
		避難訓練の実施率	100%	100%	—	警察・消防等の関係機関と連携し、各学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を実施した。	①・2・3	学校教育課
	学校体育の充実と体力の向上	西海市独自の体育指導者講習会の開催	開催数 年2回	開催数 年2回	—	長崎市、西彼杵郡との合同開催で小学校1回、中学校1回 計2回の講習会を実施し、指導者の資質向上に資することができた。	1・②・3	学校教育課
	中学校の部活動における外部指導者の割合	外部指導者の割合 中学校 63%	外部指導者の割合 中学校 70%	—	地域の指導者と連携し、クラブ活動並びに部活動の運営を円滑に進めることができた。	1・②・3	学校教育課	
	中学校クラブ活動補助金	市内5中学校 49クラブ	市内6中学校 53クラブ	1,470	中学校のほとんどの生徒が入部しているクラブの運営補助を行い、保護者の負担軽減を図り、部活動を通じた生徒の育成に寄与した。	①・2・3	学校教育課	
	結核対策委員会	委員会 年1回開催	委員会 年1回開催	37	年1回、小中学校から提出された要検討者名簿から適切な対処法の指導検討を行い、結核の予防が図られた。2回予定で、1回目で解決できない案件を2回目で行うこととしているが、1回目で対応できたため、2回目は実施しなかった。	①・2・3	学校教育課	

	学校給食・食育の充実	西海市産の農漁産物の利用率	利用率 81.6%	利用率 81.8%	—	地元の食材を有効に活用し、高い成果を上げることができた。しかし、農作物の確保は天候等に左右されるため、継続が難しい場合もある。	①・2・3	学校教育課
		栄養教諭や学校栄養職員による食に関する授業回数	授業回数 小…延べ64回 中…延べ81回	授業数 各校1回	—	各校で栄養教諭と連携して計画を立て授業を実施した。児童生徒の実態や発達段階を把握し、家庭科、体育保健、特別活動等との連携を図りながら実施した。	①・2・3	学校教育課
		学校給食施設の大規模改修施工箇所	未実施	—	—	施設内の老朽化による小規模の修繕や備品等の入替え購入は発生しているが、今後、学校給食共同調理場の適正規模計画による大規模改修の実施は必要である。	1・2・③	学校教育課
		学校給食共同調理場の適正規模化計画	未策定	—	—	児童・生徒数の減少により、先を見据えた調理員の減と給食調理場の統廃合により、最終的には現在4箇所ある調理場を2箇所とすることで効率化を図る必要がある。	1・2・③	学校教育課
(4) 教職員の 資質の向 上	教職員研修の充実	選択制の教職員研修の実施回数	選択研修4種目 特別研修0種目 該当者必須研修4種目	選択研修4種目 特別研修0種目 該当者必須研修4種目	—	選択制の教職員研修については、西海市教職員研修会として実施した。夏季研修期間中に、教職員の指導力や資質の向上を図ることを目的として、市主催の選択研修4種目、該当者必須研修4種目を開催した。選択研修は「特別支援教育」「西海学」「読書活動」「農業体験」の4種目、必須研修「初任者研修」「10年経験者研修」「特別支援教育補助員研修」「部活動指導者研修」の4種目を実施した。	①・2・3	学校教育課
		教育研究会と連携した授業研究会等の開催回数	開催数 11回	開催数 2回	—	教育研究会へき地・複式部の研究会と校内研究への指導主事派遣を共同で実施した。今後も教育研究会と連携をとりながら、授業研究会等の充実を目指す。	①・2・3	学校教育課
	校内研修の推進	校内研修への指導主事の派遣	派遣回数 小学校28回 中学校9回	派遣回数 小学校48回 中学校6回	—	各学校の研究内容に応じて指導主事を派遣して指導助言を行った。 (小学校：15校に対し28回、中学校：5校に対し9回)	①・2・3	学校教育課

(5) 幼児期の 教育の振 興	幼・保・小接続 教育の推進	幼・保・小の教職 員間の交流事業の 実施	実施率 100%	実施率 100%	—	幼稚園、保育園、小学校の教職員同士の情報交換を小学校単位で実施した。 ただし、研修会は実施できなかった。	1・②・3	学校教育課
		幼稚園就園奨励事 業	補助対象 幼児数 72人	補助対象 幼児数 80人	8,428	国の幼児教育振興政策として行われている。3歳以上の幼稚園児の保護者の保育料の負担軽減を図るため幼児教育振興に努め、補助を実施した。	①・2・3	学校教育課
	幼児教育の推 進	認定子ども園の設 置	設置数 1園	設置数 1園	—	福祉課と連携し、「認定子ども園」の創設や公・私立幼稚園、また保育所（園）の適正配置など、幼児教育の場の安定的確保と指導体制の研究・推進を図る。	1・2・③	学校教育課
		私立幼稚園教育振 興補助事業	補助対象 幼稚園数 2園	補助対象 幼稚園数 3園	3,350	市内4私立幼稚園に対して、教育振興と充実した教育を進めるため補助を行い、幼児教育の充実を図った。	1・②・3	学校教育課
		子育てあんしん応 援事業	補助対象者 13名	補助対象者 11名	562	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るとともに、幼児の健全な育成に資するため、西海市内幼稚園に就園する園児の保護者が負担する保育料の一部を補助した。	①・2・3	学校教育課
		私立幼稚園通園費 補助事業	補助対象者 19名	補助対象者 23名	119	西海市が目指す「安心して生み育て、豊かに暮らせる里づくり」の実現に向け、遠距離地区から通園する園児の保護者に対して、経済的負担を軽減する目的から通園費補助を行った。	①・2・3	学校教育課

中項目		2. いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進						
小項目	主要施策	成果指標	25年度	24年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 学習環境 の充実	図書館ネット ワークの整備	図書館システムの 導入	図書館(室)数 5館	図書館(室)数 5館	—	図書館システム導入後、市内全ての図書館蔵書を把握することができ、 図書整備の充実に繋がった。 また、市内間における相互貸借数も増加した。	①・2・3	社会教育課
		長崎図書クロスね っとへの検索サー ビス	図書館(室)数 5館	図書館(室)数 5館	—	長崎県立長崎図書館を中心としたクロスねっとを活用し、県内外の図 書館蔵書の検索や相互貸借が可能となり、サービス提供の拡大に繋が った。	①・2・3	社会教育課
		学校図書システム との連携	100%	100%	—	図書システム導入により、公立図書館から「身近に本を届ける支援・ サービス」の一環として学校や幼稚園、保育所など、移動図書館サー ビスや団体貸出、学級文庫貸出を実施した。また、平和学習や人権週 間時には学校図書システムを確認しながら学校に蔵書されていない図 書の貸出サービスを行った。	①・2・3	社会教育課
	図書サービス の向上	図書ボランティア の数	15人	13人	—	図書ボランティアが活躍できる場として定期的に開催されている各図 書館・図書室での「おはなし会」や「親子読書のつどい」等に参加。	①・2・3	社会教育課
		図書館利用者数 (年間)	35,979人	34,202人	—	新規図書館利用登録者の増加に伴い、利用者は若干増加している。	①・2・3	社会教育課
		貸し出し図書数 (年間総数)	119,680冊	120,166冊	—	図書館利用者の増加に伴い、貸出冊数も若干増加している。 平成25年度目標数値83,000冊は上回っている。	①・2・3	社会教育課



	子どもの読書活動の充実	乳児検診時のブックスタート実施率	95.8%	98.6%	379	子ども読書推進計画に基づき本に親しみきっかけづくりを行った。具体的には、まだ字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせることにより、子どもに対する読書推進の風土を醸成した。	①・2・3	社会教育課
		子どもの読書活動計画の実施	100%	100%	—	平成25年度に策定された「第2次子ども読書活動推進計画」に掲げた「子どもが読書に親しむ機会の提供・充実」、「子どもの読書環境の充実・整備」、「家庭」・「学校」・「地域」等の連携・協力の基本方針に沿って、子ども読書活動推進事業を実施した。	①・2・3	社会教育課
(2) 公民館活動の活性化	校区公民館を核とした地域教育力の向上	校区公民館の整備数	8館	8館	2,556	地域の自発的な組織構築ができるような支援を行ったが、新規組織の構築はできず、目標数値に近づくことができなかった。	1・2・③	社会教育課
		モデル公民館活動実践館	4館	3館	600	西海市内の自治公民館の活動を推進し、活性化を図ることを目的とし、市内のモデルとなる事業を実施する公民館に対し補助を行った。モデルとなる事業を実施している公民館は多いものの、補助金を活用した館は少なかった。	1・②・3	社会教育課
	公民館ネットワークの整備	公民館職員等の年間研修機会回数	1回	1回	8	西海市内の公民館関係者が、地域づくりの拠点としての公民館の役割や、地域の課題解決を推進する研修を深め、地域活性化を促進する一員としての資質の向上を図ることを目的として、西海市生涯学習推進大会を開催した。	1・②・3	社会教育課
		公民館情報誌の年間発行回数	2回	3回	139	今日的な課題の共有、各自治公民館や公立公民館での事業紹介、行事予定等を掲載し、地域に親しまれ、情報を共有することを目的に、公民館広報誌「波動」を発行した。	1・②・3	社会教育課
	公民館連絡会議の開催	1回	1回	—	館長・主事・書記をはじめとする公民館役員とのつながりを強化するため、連絡会議を開催した。	1・②・3	社会教育課	

	公民館等を活用した学習拠点づくり	生涯学習講座への参加者数	6,136人	6,625人	—	地域の特色を生かした講座や各種講座への参加者。 平成25年度の目標人数6,000人を上回っている。	1・②・3	社会教育課
		公民館利用者数	60,622人	60,845人	—	市内公立公民館利用者数。 (生涯学習参加者、会議等の一般利用者、各種研修会参加者等)	1・②・3	社会教育課
(3)	社会における人権・同和教育の推進	人権・同和教育に関する講演会・研修会の参加者数	310人	300人	346	「西海市人権のつどい」で特別講演を行なったほか、「いのちや「男女共同参画」などをテーマに、高齢者大学や成人大学講座で基本的人権の尊重を学ぶ機会を提供した。	1・②・3	社会教育課
		人権・同和教育の指導者登録人員	2名	2名	—	長崎県主催の人権・同和教育指導者スキルアップのための研修会に参加し、指導者として登録した。	1・②・3	社会教育課
	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進	小学校におけるいじめ発生確認件数	確認件数 小学校20件	確認件数 小学校2件	—	本年度も引き続き道徳の授業の充実と人権教育の推進を行った。冷やかしかや仲間はずし等、全ての事案について解消することができた。	①・2・3	学校教育課
		中学校におけるいじめ発生確認件数	確認件数 中学校13件	確認件数 中学校7件	—	本年度も引き続き道徳の授業の充実と人権教育の推進を行った。冷やかしかや仲間はずし等、全ての事案について解消することができた。	①・2・3	学校教育課
		平和学習推進事業	実施校数 24校	実施校数 25校	—	原爆資料館や被爆遺構の見学、被爆者等の講演など、全小・中学校で、平和学習推進事業を実施した。	①・2・3	学校教育課

中項目		3. 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上						
小項目	主要施策	成果指標	25年度	24年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 家庭の教育力の向上	保護者への子育て支援	親が学べる講座の回数	9回	16回	126	家庭教育の指導者である親に学べる講座を実施した。	1・②・3	社会教育課
		幼稚園・保育所での家庭教育学級の開催数	4回	2回	40	保護者が主体となって実施する家庭教育学級を開催した。	①・2・3	社会教育課
	幼児期の子育て支援の充実	幼稚園預かり保育支援補助事業	補助対象 幼児数 185人	補助対象 幼児数 215人	658	市内私立幼稚園に通園する園児の保護者を対象に、幼稚園の保育時間外の預かり保育に対し、補助を実施し、保護者の負担を軽減し幼児教育の振興と充実を図った。 ※人数は学期ごとの延べ人数	①・2・3	学校教育課
	PTA活動の活性化	PTA研究大会、研修会等の開催	年1回	年1回	292	西海市の小中学校の保護者・教職員が一体となって、合同の研修を開催することで、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と基礎学力の充実発展を図った。 実践発表：2校 講演会 演題：「今こそ親子の絆を深めるとき」 講師 長崎女子短期大学幼児教育学科教授 浦川末子氏	①・2・3	学校教育課 社会教育課
(2) 学校・家庭・地域の協働	学校支援活動の推進	「学校支援会議」の設置率	100%	100%	—	市内小中学校に設置されている。	①・2・3	社会教育課

(3) 青少年の 健全育成	青少年関係団 体の活性化	青少年育成を対象 にした事業開催件 数	3回	2回	1,042	団体、協議会との情報を共有し、青少年の健全育成のため、協働によ る事業を開催した。	①・2・3	社会教育課
		青少年健全育成モ デル事業開催件数	1回	0回	—	青少年健全育成活動を推進するため、市内の市民団体が行う活動（事 業）を実施した。	①・2・3	社会教育課
	青少年の交流 活動の推進	青少年を対象にし た体験・交流事業 開催件数	3回	3回	211	青少年を対象に体験活動や地域・学校・学年の枠を超えた交流事業を 実施した。	①・2・3	社会教育課
		他市町との子ども たちとの交流活動	1回	2回 (小学生)	(まちづくり 推進課負担)	姉妹都市である北海道広尾町の小学生との交流事業を実施した。	①・2・3	社会教育課 学校教育課
	青少年を有害 環境から守る 取組の推進	有害図書類等販売 店舗等への立入調 査への協力者数	立入調査 13(7月)、15(11 月)箇所 協力者数10名	立入調査 13(7月)、9(11 月)箇所 協力者数10名	38	毎年7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月の「全国青 少年健全育成強調月間」に併せて、関係機関と連携しながら、有害図 書類等販売店舗への立入調査を実施した。	①・2・3	社会教育課
		情報メディアの適 切な利用法を啓発 する学習会の開催	1回	3回	—	各小中学校PTA主体で開催されている家庭教育学級を活用し、情報 メディアの適切な利用についての学習会を開催した。 家庭教育学級における研修テーマについては、各PTAにおいて決定 されるので、年度によって開催回数に変動がある。	1・②・3	社会教育課

中項目		4. 安全・安心を確保する教育環境の構築						
小項目	主要施策	成果指標	25年度	24年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 安全・安心 を確保す る教育環 境の実現	教育施設の耐 震化の推進	小中学校の耐震化 率	96.0%	96.0%	—	昭和56年以前に建築された全ての校舎及び体育館について、平成20年度に実施した耐震2次診断結果に基づき、緊急性の高い建物から計画的に耐震補強工事を実施し耐震化の改善を図っている。目標耐震化率100%に向け改修を進めているが、平成25年度は実績なし。	1・②・3	教育総務課
	安全確保を図 る地域ボラン ティアの育成	「スクールガー ド」を設置してい る小学校の割合	設置率 86.7%	設置率 87.5%	—	地域ぐるみの学校安全体制充実のため、地域の協力の下「スクールガード」の組織をつくり、子どもの登下校を見守る運動を推進した。	①・2・3	学校教育課
		子どもの安全確保 対策事業	防犯ブザー購入 数 220個	防犯ブザー購入 数 220個	97	防犯ブザー220個を購入し、新1年生215人へ配布を行い、児童の登下校時の安全を確保することが図られた。	①・2・3	学校教育課
	スクールバス運行 事業	スクールバス 5台 西彼地区2台 西海地区3台 内1台10人乗り	スクールバス 3台	20,112	遠距離通学で、路線バスがない地区の児童生徒の通学上の負担軽減を図るため、民間業者への委託事業により市内で5台のスクールバスを運行した。 西彼中学校の生徒30名、西海西小学校、西海南小学校及び西海南中学校の3学校の児童生徒75名が利用し、通学の安全、通学費の負担軽減が図られた。	①・2・3	学校教育課	
	放課後の子ども たちの居場 所づくり	放課後児童クラブ への各種登録ボラ ンティアの派遣	0人	0人	—	放課後等子ども達が安全で健やかに過ごせるよう、生涯学習ボランティア等に登録された人材の情報提供や派遣を行う事業。 実施できていないため、放課後児童クラブを営む場所等を検討し、再度ボランティア登録の整備を行う。	1・2・③	社会教育課

(2) 学校施設の 質的改善	学校の適正配置の促進	小・中学校数	20校	24校	—	平成25年4月より、大島中学校と崎戸中学校が統合し大崎中学校が開校した。同じく平成25年4月より、多以良小学校、松島小学校、瀬戸小学校及び雪浦幸物分校が統合し大瀬戸小学校が開校した。また、西海市立小・中学校適正配置基本計画の答申を受け、後期計画として西彼地区小学校統合事業、西海地区小学校統合事業及び大崎地区小学校統合事業推進に取り組んだ。	①・2・3	教育総務課
	学校屋外運動場の整備	屋外運動場改修学校数	改修済学校 12校	改修済学校 12校	—	子どもたちが等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の整備・改修に努めている。目標施設数14校に向け改修を進めているが、平成25年度は実績なし。	1・②・3	教育総務課
		小学校机・椅子整備事業	机・椅子購入数 亀岳小 134組 白似田小 43組 大串小 88組 西彼北小 127組	机・椅子購入数 瀬戸小 151組 雪浦小 19組	6,092	市内小学校の机椅子を年次計画及び学校の希望に合わせ平成18年度までに整備を行ったが、学習指導要領の改訂に伴い、24年度から26年度までの3カ年で、教科書等の規格に合わせて整備を行うこととした。	①・2・3	学校教育課
		中学校机・椅子整備事業	机・椅子購入数 大崎中 130組 平島中 1組	机・椅子購入数 西海中 183組	2,146	市内中学校の机椅子を年次計画及び学校の希望に合わせ平成18年度までに整備を行ったが、学習指導要領の改訂に伴い、24年度から26年度までの3カ年で、教科書等の規格に合わせて整備を行うこととした。	①・2・3	学校教育課
	学校の情報化の充実	教育ネットワークの構築	ネットワーク構築等の見込経費による比較検討を行った。	—	—	教育委員会と小中学校を結ぶ教育ネットワークについては、教育委員会は市のグループウェア、学校は別途ネットワークで別々のネットワークで運営しているが、双方の通信はインターネットを介してのメール送受信のみである。現在、大きな支障はないが、今後、同じネットワーク環境での運営による事務の効率化を検討。予算確保が課題である。	1・2・③	教育総務課

	小・中学校におけるICT化に必要な周辺機器及びソフトウェアの整備	設置済校数 小学校 1校 (研究校) 中学校 1校	設置済校数 小学校11校 (研究校) 中学校 0校	1,911	本市では、平成21年度末で各学校の教育用及び校務用パソコンの整備は完了している。現在、学校のICT化の効果を高めるために電子黒板等に代表される周辺機器及びソフトウェアの整備を行うための研究を実施している。平成24年度から小学校に、平成25年度から中学校にモデル校を指定して研究事業を実施する中で必要なICT機器類を決定し、年次的に整備することとしている。平成24年度に大島東小学校をモデル校に指定し研究事業用の機器類を導入した。	①・2・3	学校教育課
	ICT化サポート支援員の設置	支援員配置数 1名	支援員配置数 1名	1,277	学校におけるICT機器のトラブルやネットワークの障害対応といったICT環境面での技術支援とともに、ICTを活用した授業への相談や支援について、常時対応できる人材を1名配置した。	①・2・3	学校教育課
	ホームページ作成校数	19校	13校	—	ICT化サポート支援員の支援のもと、全学校でホームページが作成できた。(平成25年度統合の学校を除く。)	①・2・3	学校教育課
学校施設の大規模改修	老朽校舎等の大規模改修校数	改修済校数 9校	改修済校数 9校	—	老朽化が著しい学校校舎等について、外壁や床、給排水設備等施設の大規模改修を年次計画で実施することとしている。目標施設数11校に向け整備を進めているが、平成25年度は実績なし。	1・②・3	教育総務課
	玄関・トイレ等バリアフリー化整備校数	整備済校数 8校	整備済校数 8校	—	学校施設は、障がい者(児)等も含む様々な人の利用が見込まれるため、バリアフリー環境の整備に努めることとしている。目標施設数12校に向け整備を進めているが、平成25年度は実績なし。	1・②・3	教育総務課
	再生可能エネルギー活用施設設置校数	設置済校数 3校	設置済校数 0校	54,753	環境負荷の低減や、自然との共生等を考慮し、太陽光・風力などの再生可能エネルギーの導入、緑化、木材の利用等学校施設における温室効果ガスの排出量削減に努めるとしている。平成25年度太陽光発電施設設置校(西彼中学校、西海中学校、大瀬戸中学校)。環境政策課実施の再生可能エネルギー普及推進事業(公共施設省エネ設備導入)により設置。	①・2・3	教育総務課 (環境政策課)

中項目		5. 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興						
小項目	主要施策	成果指標	25年度	24年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 文化・芸術 活動の推 進	文化芸術と触 れ合う機会の 創出	優れた文化・芸術 に関するイベント の開催回数	3回 (舞台芸術2回、 映画1回)	4回 (舞台芸術3回、 展覧会1回)	—	文化協会との共催事業により「①真夏の映画館（崎戸炭鉱記録映像及び映画フラガール上映）（8月）」「②桂米助講演会（9月）」「③コンサート宝くじおしゃべり音楽館（2月）」を開催し、西海市内外より延べ約731名の来場があった。	1・②・3	社会教育課
		文化施設の整備・ 活用	歴史民俗資料館 について検討を 進め、大瀬戸青少 年研修所を移管 した。	歴史民俗資料館 について検討を 行った。	—	総合的な整備計画についての策定は行っていないが、市内3館の歴史民俗資料館のあり方等について、平成24年度の答申書をもとに庁内での検討をすすめた。放課後児童クラブでの活用を図るため、大瀬戸青少年研修所を保健福祉部へ移管し、また各文化施設の修繕の不良個所の修繕を行った。	1・②・3	社会教育課
	小・中学校文化活 動支援事業	文化祭開催数 1回	文化祭開催数 1回	424	第7回西海市小・中学校総合文化祭が、平成25年10月24日（午前：小学校の部、午後：中学校の部）に大島文化ホールで開催され、音楽演奏発表、図工、美術作品展示があり、小学校関係、保護者、地域の大勢の観客が見守る中、盛会に終了した。	①・2・3	学校教育課	
	文化団体の交 流活動の促進	全市的な文化祭等 の開催	3回 (総合文化祭1 回、展覧会1回、 音楽祭1回)	2回 (総合文化祭1 回、展覧会1回)	—	西海市文化協会の育成、支援に努め、文化協会主催による第3回西海市文化祭（6月）、第2回西海市文化展（11月）を開催し、さらに文化協会加盟13団体の参加により第1回西海市民音楽祭（3月）を開催した。	①・2・3	社会教育課
	西海市文化協会の 加入促進	622人 (賛助会員含む)	624人 (賛助会員含む)	5,000	文化協会への加入を促進するため、会員を対象とした事業（芸術観賞ツアー、共催事業、広報紙・機関誌発行）を強化し、協会の魅力アップに努めた。新規事業として、新規会員の開拓のため、通常活動している町以外の場所で講座を開催する「公開講座2013秋」を開催し、5団体で31名の参加があった。	①・2・3	社会教育課	



(2) 文化財の 保存・活用	文化財の公開・研究	西海市歴史民俗資料館のあり方等検討委員会の設置	答申に基づく検討	設置 (諮問し答申を得た)	4,158	平成24年度3月に『地域振興の戦略的拠点としての「さいかい市民ミュージアム(博物館)」創設の提言』の答申書を受領した。平成25年度は、この答申の具体化を図るために、庁内での検討を進めた。また答申書に基づく事業として「西海の自然・歴史文化を考えるシンポジウム」の開催、歴史民俗資料館の防虫・燻浄、収蔵品管理システムの導入、収蔵史料の調査報告書の発行を行った。	①・2・3	社会教育課
	文化財の保存・活用	西海市史跡ガイドブックの作成	第1版の活用	第1版作成	757	平成24年度に西海市文化財保護審議会の協議を経て、国・県・市の文化財並びに市内の周知の埋蔵文化財の分布図をまとめた冊子「西海市の文化財」を1,000部発行し、学校、図書館等の教育機関へ配付した。その活用を図るため、4回の歴史講座(古楽講座・西海橋と伊ノ浦瀬戸・崎戸炭鉱・七釜鍾乳洞延べ約130名参加)、文化財説明板(志田三郎の墓、面高唐人墓)の設置も併せて行った。	①・2・3	社会教育課
		文化財の調査・研究着手件数	2件 (炭鉱遺構・大瀬戸歴史民俗資料館収蔵資料)	2件 (炭鉱遺構・七釜鍾乳洞)	10,306	炭鉱遺構については、大学等に残る資料収集、住民への聞き取りと、崎戸・松島・大島の遺構調査・大学(九大、九工大、東大、三井文庫、北海道大学)等における資料収集及び住民への聞き取り・松島炭鉱第4坑跡の測量調査を行い、『西海市の炭鉱遺構(概要版)』を発行した。また、西海・崎戸・大瀬戸の3館には本市の歴史を物語る資料が収蔵されており、平成25年度は大瀬戸歴史民俗資料館所蔵の大村藩領多良村出身の山瀧熊太夫が記した戊辰戦争従軍日記である『吾往隊出軍中日記』を翻刻・発行した。	①・2・3	社会教育課
	地域伝統文化の継承	伝統文化の記録・保存件数	13件	12件	882	西海市指定無形民俗文化財「下岳龍神祭」の映像記録を作成した。実施日に併せ専門業者による撮影、住民等への取材等を行い、普及編(35分)概要編(7分)の計100枚のDVDを作成し、保存会、学校、図書館・図書室(貸出可能)に配付した。	①・2・3	社会教育課
(3) 活力ある スポーツ	生涯スポーツの推進	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数(年間)	小学生水泳教室、シニア水泳大会、アクアピクス、ス	水泳教室、水泳大会、アクアピクス、県民スポー	630	平成25年度は、大瀬戸プールにおいて、小学生を対象とした水泳教室、シニア層の水泳大会、水中健康教室を実施。また、これ以外にスポーツフェスタ、生涯スポーツ講習会を開催し、市民の健康増進と軽スポ	1・②・3	スポーツ振興課

の振興		ポーツフェスタ、生涯スポーツ講習会 計6回	ツ・レクリエーション祭、スポーツフェスタ、生涯スポーツ講習会 計6回		ーツの普及に努めた。今後においても引き続き事業の啓発を行い、参加者増を目指す。			
	総合型クラブ設立団体数	設立団体 1団体 (累計)	設立団体 1団体 (累計)	—	大瀬戸地区に1団体設置。日々の陸上活動を中心に、タグラグビーや夏季合宿、春季・冬季計2回のクロスカントリー大会を実施した。	1・②・3	スポーツ振興課	
	クラブマネージャーの育成数	マネージャー数 3人 (累計)	マネージャー数 3人 (累計)	—	平成23年度からクラブマネージャー養成講習会が東京及び広島のみで開催となったため、受講を見合わせている。数年に一度長崎もしくは近隣での講習会開催をお願いするなど、今後の呼びかけと受講者に対する補助等の検討が課題である。	1・②・3	スポーツ振興課	
	スポーツ指導者の育成	ジュニアスポーツ指導者講習会(年間)	開催数 4回	開催数 1回	—	平成25年度指導者講習会としては、心肺蘇生法及びAED講習会を他団体と共同で実施した。	1・②・3	スポーツ振興課
		スポーツ指導者講習会への派遣回数(年間)	派遣回数 1回	派遣回数 3回	—	長崎県スポーツ指導者研修会に体協から1名参加した。	1・2・③	スポーツ振興課
		西海市スポーツリーダーバンク登録者数	未登録	未登録	—	長崎県スポーツリーダーバンクには9人登録しているが、西海市では本制度が確立されていない。今後は「スポーツ指導者連絡会」の設立を助成したうえで「スポーツリーダーバンク」制度の確立を目指す。	1・2・③	スポーツ振興課
		スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員会開催9回、行事・教室参加13回、研修会参加8回	スポーツ推進委員会開催8回、行事・教室参加13回、研修会参加7回	2,870	スポーツ推進委員会の開催、県民体操であるがんばらんば体操の普及、さいかいシティーウォークの企画運営、各種スポーツ行事への協力及び研修会参加など、年間を通じて活発な活動ができた。特に今年度は、一度も行ったことがない平島地区でスポーツ実技講習会を行った。今後はさらに未活動地域に入り、生涯スポーツによる活性化を図る。	1・②・3	スポーツ振興課

競技力の向上	西海市体育協会加盟団体数	加盟団体数 23 団体 (うち休部3)	加盟団体数 25 団体 (うち休部4)	—	平成 25 年度は、パークゴルフ協会及び綱引き協会が脱退し、ゴルフ・水泳・ソフトテニス協会が休部となった。今後において、大会開催費助成や体育施設使用料減免など体育協会加盟のメリット等を啓発し、未加入団体への加盟促進を行い、引き続き体育協会の組織強化を図るよう努める。また、市内にレクリエーション協会がないため、例えばベタンク協会など軽スポーツ単体の協会設置加入促進も視野に入れ検討していく。	1・②・3	スポーツ振興課
	県民体育大会参加者数(年間)	県民大会 261 人 参加	県民大会 275 人 参加	—	9月に市民スポーツ大会を実施し、勝ち抜いた各競技の代表チームが11月に開催された県民体育大会へ出場した。 (ソフトボール 72名、バレーボール 42名、バスケットボール 31名、軟式野球 14名、陸上 21名、バトミントン 8名、テニス 14名、相撲 8名、弓道 16名、卓球 14名、グラウンドゴルフ 13名、ゲートボール 8名、ソフトテニス 0名、剣道 0名、少林寺拳法 0名)	①・2・3	スポーツ振興課
	西海市体育協会補助金	加盟団体数 20 団体 会員数 2,875 人	加盟団体数 21 団体 会員数 3,036 人	9,435	体育協会加盟団体の総括的な育成推進が図られた。また、各競技種目の振興や大会協力の他に、ジュニア育成強化や軽スポーツの普及などにも力を入れており、生涯スポーツの推進に広く貢献した。	1・②・3	スポーツ振興課
	西海市ロードレース大会開催補助金	参加者数 732 人	参加者数 820 人	1,971	平成 24 年度大会には市内外をはじめ毎年多くの参加があっているが、近年、近隣の大会と日程が重複し、参加者が微減の傾向にある。特に平成 24 年度の申込数は 910 人であったが、雪雨による荒天となったため、キャンセルが相次いだ。今後の大会について実行委員会で協議した結果、継続することを確認した。	1・②・3	スポーツ振興課
	西海市スポーツ大会出場補助金	補助対象 5 件	補助対象 5 件	50	九州大会以上の上位大会に代表として出場した競技者に対し、交通費及び宿泊費等の参加費の補助を行った。 なお、対象は市体育協会未加盟団体で、加盟団体には体育協会から同様の助成が行われた。	①・2・3	スポーツ振興課

(4) スポーツ 環境の充 実	スポーツ施設 の整備充実	体育施設整備計画 に基づく施設整備 進捗率	4件実施 16.6% (全24件)	整備計画策定	—	平成24年度策定の整備計画書に基づき、本年度から改修工事や整備工 事に取り組んだ。10年後100パーセントの進捗率を目指す。	1・②・3	スポーツ振興課
		大島若人の森総合 運動公園改修事業	実施設計・監理 1式	—	1,943	宿泊施設の老朽化に伴う改修工事を行うため、実施設計及び監理業務 を委託した。	①・2・3	スポーツ振興課
			改修工事 1式	—	21,170	上記実施設計後、改修工事を行った。 [改修箇所] ロッジ・バンガロー・研修棟 [改修内容] 外壁塗装、木製デッキ・手摺取り替え、内装クロス張替え コロナアル金物取替え等	①・2・3	スポーツ振興課
		大島地区内教育施 設駐車場整備事業	実施設計 1式	—	1,313	昭和58年に建設され、老朽化が著しく倒壊の恐れがある大島相撲場 を解体撤去し、社会教育及び学校教育分野など周辺施設利用者の利便 性を図るため、解体後の跡地利用として駐車場を整備するための実施 設計を行った。	①・2・3	スポーツ振興課
			整備工事 1式	—	13,617	上記実施設計後、整備工事を行った。 [大島相撲場] [駐車場] 上屋1棟 49.0㎡ 面積 1982.0㎡ 駐車台数 51台	①・2・3	スポーツ振興課
		大瀬戸総合運動公 園国旗掲揚台改修 事業	改修工事 1式	—	788	大瀬戸総合運動公園陸上競技場国旗掲揚台の市章が旧大瀬戸町時代の 町章のままであったため改修工事を行った。 外壁塗装・市章プレート製作設置	①・2・3	スポーツ振興課
		社会体育施設等A ED整備事業	備品購入 1式	—	6,905	社会体育施設及び学校体育施設において、救急救命措置ができる環境 を整えるため、AED(自動体外式除細動器)を設置した。 ○AED・収納ボックスを設置した社会体育施設数 10箇所 ○収納ボックスのみを設置した学校体育施設 19箇所	①・2・3	スポーツ振興課

スポーツの推進体制づくり	スポーツ情報の提供	提供回数 12回	提供回数 12回	—	広報、ウェブサイトを活用し、各種スポーツイベント等の開催情報や結果報告などの提供を行った。	①・2・3	スポーツ振興課
	スポーツ関係者情報交換会開催回数	未実施	未実施	—	スポーツ推進委員、体育協会など関係機関とのネットワークを構築してスポーツ活動の支援を行い、スポーツ関係者情報交換会の開催に取り組む必要がある。	1・2・③	スポーツ振興課
国体の準備・開催	県民体操地域インストラクター育成	インストラクター数 2人(継続)	インストラクター数 2人	—	県民体操である「がんばらんば体操」を普及するため、現在地域インストラクター2名が活躍している。普及活動も進んでおり、多くのスポーツ事業で取り組みを行っている他、地域からインストラクターの派遣要請があり指導を行った。今後増員する。	1・②・3	スポーツ振興課
	体操教室開催回数	開催数 6回	開催数 4回	—	長崎国体の競技種目の1つである新体操競技を普及させるために、関係競技団体と連携し、体操教室の開催に取り組んだ。 本年度は開催回数も昨年度から増加させ、参加人数も延495人となった。	①・2・3	スポーツ振興課
	長崎がんばらんば国体西海市実行委員会補助事業	総会：1回 常任委員会：1回 総務広報専門委員会：1回 競技式典専門委員会：2回 宿泊衛生専門委員会：1回 輸送交通・警備消防専門委員会：1回	総会：1回 常任委員会：2回 総務広報専門委員会：2回 競技式典専門委員会：1回 宿泊衛生専門委員会：2回 輸送交通・警備消防専門委員会：2回	22, 144	開催準備業務を円滑に行うため、総会をはじめとする各種会議を開催し、各専門分野での協議を行った。 また、九州高総体新体操大会を誘致しリハーサル大会として開催。本国体の大会運営能力の向上を図るとともに、市民に向けて長崎がんばらんば国体の機運醸成となる大会となった。	①・2・3	スポーツ振興課